

日本国憲法が定める「国民の権利及び義務」を踏まえて、国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を小学校生活の課程において養うため、体系的・計画的な指導を行う。

【新しい時代の教育の基本理念】

- 知・徳・体の調和がとれ、生涯にわたって自己実現を目指す自立した人間の育成
- 公共の精神を尊び、国家・社会の形成に主体的に参画する国民の育成
- 我が国の伝統と文化を基盤として、国際社会を生きる日本人の育成

【会津坂下町の教育基本理念】
 「生きる喜びを育む教育」
 目標：「学びあう」「競いあう」「認めあう」子どもたちの育成
《めざす園・学校像》

- 1 活力ある園・学校
- 2 基礎学力を保障する学校
- 3 組織が機能する園・学校

《めざす学校像》

- 安心・安全な学校
- 学ぶ喜び、学ぶ楽しさがある学校
- 地域に根ざし、信頼される学校

平成29年度
会津坂下町立坂下南小学校学校経営・運営ビジョン

教育目標
 「学びあう」「競いあう」「認めあう」未来を切り拓くばんげっ子の育成

- よく考え 進んで学習する子ども
- 感動する心を持ち 思いやりのある子ども
- 明るく 健康でたくましい子ども



学校経営の方針
 「誰とでも仲よくできる子ども、元気に外で遊ぶ子ども、読書や家庭学習を熱心に続ける子ども」「組織で動くチーム坂下南小」「子どものために協力を惜しまないPTA」を財産に、『充実・生き生き・楽しい坂下南小学校』と誰もが自信をもって言える学校を日々の着実な実践を継続することにより実現する。

- 1 「学びあう」「競いあう」「認めあう」場や機会を位置づけて、教育目標を具現化する。
- 2 坂下南小学校の誇りと一員としての自覚を抱かせるよう指導・支援を行う。
- 3 学力の向上を図るため、学ぶ楽しさを実感できる授業を工夫する。
- 4 「坂下学」を生かし、種々の体験活動を大切にした特色ある教育活動を行う。
- 5 感動する心・たくましい心身を養うための体験活動を展開する。
- 6 幼稚園・小学校・中学校と一貫した教育活動や指導を行う。 校長 齋藤茂幸

【児童の実態】

- 学力は標準程度であるが、話をしっかり聴く態度や自分の考えを他に伝えることに課題がある。
- 素直で積極的に活動する児童が多いが、他を思いやる気持ちの醸成がさらに必要である。
- 走力や瞬発力など体力テストの結果は向上しつつある。運動能力と体力のバランスやまん強さに欠けるところがある。肥満傾向児童もやや多い。

【保護者の願い】

- 人とのつながりを大切にし、他を思いやる心を持った子どもになって欲しい。
- あいさつや返事がしっかりできる子どもになって欲しい。

【教師の願い】

- 自ら考え、主体的に行動する児童
- 挑戦する意欲を持ち、児童相互に切磋琢磨する児童
- コミュニケーション能力に優れ、表現力が豊かな児童

《めざす教師像》

- 子どもの持つ可能性を見つけ、伸ばす教師
- 子どものよさが分かり、認め、励ます教師
- 子どもの思いを敏感に感じ、共感できる教師

【重点目標と実践事項・内容】

- 1 学ぶ楽しさを実感する「学びあう」授業を行います。**
 - 坂下南小4つの力（聴く力、話す力、座る力、我慢する力）の育成、「学習のスタンダード」を活用した学習規律の育成
 - 学ぶ楽しさを実感する「学びあう」授業の展開、発表や話し合いのさせ方を工夫し自分の考えを表現することのできる指導の充実、ノート指導の推進
 - 算数科を中心にTTやコース別学習等個に応じた指導の実施
 - 通級指導も加えた特別支援教育の充実
 - 「坂下学」を生かした体験活動やキャリア教育の充実による学習意欲の醸成、1年生のスタートカリキュラムの実施
- 2 読書の楽しさを味わわせ、読書習慣をつくります。**
 - 朝の自主読書や読書週間・読書郵便等による読書習慣化の推進
 - 図書ボランティアの協力による図書館の整備・充実と読み聞かせや本を読む指導の推進
- 3 家庭学習の習慣を育てます。**
 - 授業とリンクした学習内容や学習相談の工夫による学年に応じた家庭学習の充実
 - 「家庭学習の手引き」や「「ばんげっ子の家庭学習」を活用して、家庭と連携した家庭学習習慣の定着と「ノーテレビ・ノーゲームタイム」の推進

【重点目標と実践事項・内容】

- 1 基本的な生活習慣やきまりを守る態度を確立します。**
 - 気持ちのよいあいさつや元気の良い返事、正しい姿勢(黙想)の指導
 - 「よい子の1日」による基本的な集団生活のきまりを守り、マナーを身につける指導。「3あ運動(あいさつ・あんぜん・あとしまつ)」や「ばんげっ子の生活のやくそく：これだけは!」の実践
 - 学校行事や学年活動でのきまりを守り礼儀正しい行動の指導
- 2 学級づくりを中心にして、豊かな感性を磨き、思いやり認めあう体験を重ねます。**
 - 一人一人を大切に学級づくりを通して、自分や他の人を大切にする心の育成、QUTテストを活用した学級づくりの推進
 - 道徳の時間を中心に、総合的な学習の時間や生活科、他教科での指導を通して、命を大切にしいじめをゆるさない子どもの育成
 - 各種行事等の体験を通し、自然や芸術の美しいものに感動する心の育成
- 3 人や動植物、環境にやさしく接することができるようにします。**
 - 縦割り班活動やその他の児童活動を通して、優しい心や思いやりの心の育成
 - 清掃活動(縦割り清掃)や用具の後片付けの徹底
 - 奉仕活動や見学学習・体験活動での社会の人と関わりを通して、社会規範の育成
 - 交流学習や通級指導を通して、認めあう子どもの育成

【重点目標と実践事項・内容】

- 1 健康に気をつけて、生活できるようにします。**
 - 心身ともに健康な体力づくりをめざし、「早寝、早起き、朝ごはん」「休み時間、元気に外で遊ぶ」の習慣化の指導及び「歩育」の推進
 - 食育教育を推進し、偏食の改善と食物アレルギー 対応の推進
 - 身体組成測定結果を活用した肥満傾向改善の推進
 - 「手洗い、うがい、歯磨き」を習慣化し、病気をむし歯の予防
 - 放射線教育の推進
- 2 危険から身を守り、安全に生活できるようにします。**
 - 「よい子の一日」をもとに、生活の約束を守り、健全な生活をする指導の徹底、情報モラル教育の推進
 - 交通安全・不審者対応の学習を通して、自分の命を自分で守る指導の充実、自転車のヘルメット着用の徹底
 - 防災・防火の学習を通して、災害から身を守る意識の向上と安全に生活できる子どもの育成
- 3 競いあいながら、体力向上にねばり強く励む指導を継続します。**
 - 「体力づくりプログラム」と「めあてを持った運動」をもとに、児童の体力に応じた運動の充実
 - 業間運動や課外活動、特別指導により、何事にも粘り強く取り組み競いあうことのできる意思の強い子どもの育成

【「地域に根ざした学校」の実践事項・内容】

- 1 情報発信につとめ、地域の中の学校づくりを進めます。**
 - 学校の様子を伝える各種たより等の発行
 - 保護者メール配信による緊密な連携
 - 地域人材の積極的活用
 - PTAとともに、「早寝早起き朝ご飯」「メディアコントロール」の推進
 - 活力ある学校の推進
 - 保・幼・小・中の連携の推進
 - webページによる情報発信
 - 地域学校公開の実施
- 2 一つの学園構想による協働実践を行います。**